

様々な学びを
あすへの方に

2022

2学期の成績の結果はどうでしたか?2021年の中で、みなさんはたくさんの経験や学びがあったのではないのでしょうか。そんな自分をふりかえり、課題を見つけ、2022年にすべきことを見つけ、実行に移していきましょう。

とくに、卒業学年の生徒は、新生活まであと3ヶ月。次年度には、小5、中2、高2の生徒は、

各学部で最高学年になります。それぞれ自覚をもって学校生活に取り組めるようにしましょう。

また、年末年始は楽しい行事もあると思いますが、規則正しい生活と体調管理には気をつけて過ごしてください。新年から新しい気持ちでスタートできるように準備していきましょう。

中学部・高等部 進路講座

「大学で学ぶということ」～筑波技術大学 体験授業

講師 筑波技術大学 産業技術学部 今井計先生・安啓一先生

去る12月7日(火)、進路キャリア教育の一環として中学部と高等部の生徒連を対象に進路講座を開催しました。講師には筑波技術大学の今井先生・安先生をお招きし、生徒たちにむけて分かりやすい内容で、大学の体験授業をしていただきました。

◎大学体験授業<中学部の部>

情報技術コースの体験では、縦波、横波の違いを学びました。スポーツ観戦のときにおきるウェーブを実際におこったり、大きなばねを使って縦波の動きを見たりと音の正体である波についての学びを深めました。

建築学コースの体験では、光について学びました。学校の建物には様々な決まりがあり、明るさも決められていて決まりに従って設計されています。実際に照度計という専用の計測器を使い測定して、決まりに当てはまるかを試しました。

◎大学体験授業<高等部の部>

情報技術コースでは、音の正体である波と正



弦波の音について学びました。音を測定し見えるようにして、音の高低などで波が変化する様子を調べたり、『人工声帯』を用いて音を出したりして、声とは何かについて学びを深めました。

建築コースでは、視覚のバリアフリーについて、セロファンを用いて高齢になると見えにくくなることを体感。どのように見え方が変わるのか、他の人は自分と同じように見えているわけではなく、様々な視点を持つことが大切だと伝えていただきました。

また、大学の先生から、多くの卒業生の話が聞けたことも大変貴重な時間となりました。パラスポーツでパフォーマンスをしたダンサーや対面で字幕が表示されるモニターの開発をしている方など、自分たちが、**障害があるから難しいかなと**考えてしまいそうな仕事を切り開いていき、**活躍している先輩の姿**に、生徒たちは勇気づけられたと思います。

サプライズで、本校卒業生の奥本さんが、リモートで参加してくれました。仕事の休憩時間を利用して、中学部の生徒に大学生活について生の声を聞かせていただきました。

生徒達の感想を紹介します。

中学部生徒の感想から

- ・大学では**自己責任と自己管理が大事**と学んだ。自分で責任を持って行動するのは難しそうだった。
- ・とてもわかりやすくて勉強になった。大学に行きたくなるきっかけになりそうです。
- ・筑波技術大学には**同じ障害を持っている人を見つけやすいので友達もたくさんできる**だろうなと思った。



先生方手話がきれいで、**ていねい**でした。読み取やすかったです。

高等部生徒の感想から

- ・説明だけではイメージしにくいので**実際に体験してみてもイメージが湧いて大学に行きたい**という気持ちが少し強くなった。
- ・大学に行くにしろ就職するにしろどちらでも**学力、発信力などの様々な力が求められる**ということがわかった。
- ・大学では**自分がやりたい仕事の視野をひろげるため、実力を上げるために学ぶところ**。大学は自由なかわりに責任感を身につける。社会に入る準備の場だとわかった。
- ・自己責任・自己管理が大事。**就職には発信力、人との関わりが強く関係している**。力さえあれば障害は関係ないとわかった。
- ・聞こえる聞こえない関係なく、**自分から動いて環境変えることを努力すれば自分もかわれる**とわかった。社会人になってからも自分から積極的に発信していこうと思う。



PTA進路講演会

「進路実現のために必要な力」

都民総合法律事務所 弁護士 田門 浩 様



9月の休校期間中に予定していましたPTA講演会を、ようやく12月11日(土)に実施することができました。ろうの弁護士である田門浩様に「進路実現のために必要な力」という題目で、保護者と中学部・高等部にオンラインで講演いただきました。

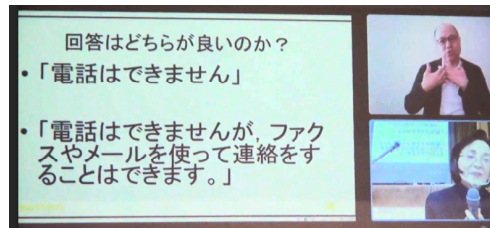
子どもたちが自立していくために、どのようなことが必要なかを考える場となりました。

実際の仕事の様子を聞かせていただき、**仕事のために手話通訳を雇っていること、現在の相**

談は、**2割が聴覚障がい者、8割は聴者**であることなど、仕事をしていく上での苦労やイメージにくい弁護士の仕事について知ることができました。

また、ろう者として弁護士を目指すに至った生い立ち、その中で自身が受けた差別経験、その時の壁の乗り越え方など、やさしい語り口の中に芯の強さを感じました。

人生の中でたくさんの壁にぶつかってこられたと思いますが、保護者はもとより中・高の生徒に向けて、大切なメッセージを伝えていただきました。



中学部生徒の感想から

- ・差別されることは障がい者にとって困ることは普通の暮らしだけではなく勉強も影響を受けてしまうものなんですね。自分の将来にも影響を受けてしまうこともあったりしてそう簡単なようで難しいものなんですね。
- ・高等部の入試を受けるので**自分にぴったりの勉強の仕方を知れて**よかったです。
- ・アメリカに留学してすごいと思った。何社も断られて諦めないってすごいと思った。
- ・目標をしっかりと持った方が良いと思った。
- ・進路のために**自分をしっかり知っておくことが大事**だと思った。
- ・田門さんのあった話とか内容を詳しく教えて下さり本当にありがたいと思ったし今後の将来についてよく考える機会にもなりました。そして障がい者での弁護士になる人がいたのだからって思っても感動しています。自分も**田門さんみたいな人になれるように頑張りたい**と思います。
- ・職歴がすごかった。色々な質問にすぐに答えられていてすごいと思った。
- ・丁寧にわかりやすく話してくれました。そこが一番うれしいところです。大変な障壁とぶつかりながら今のところにいるということところがすごいです。
- ・とても丁寧にわかりやすかったです。印象に残ったのはできないと考えるのではなくできるということです。「**自分は～ができる**」という考え方は**思いつかなかった**のでお話を聞いてなるほどと思いました。
- ・すごくわかりやすく話してくれたのでわかりやすかったです。自分の気になるところも分かったので良かったです。

高等部生徒の感想から

- ・自分の言いたいことを上手に伝えたり文章に表して書くには**本をたくさん読むことが大切**だと分かりました。本を読むことで文章構成がわかるようになると思うのでこれからは本を読んで楽しみたいと思います。
- ・田門さんは壁を乗り越えられた理由。先輩と出会うこと。仲間。自分をよく理解し他人に説明できるようにする。自分のことを理解していない場合があるので**自分の事を見つめ合う時間を作ろう**と思いました。
- ・講演会の内容がとても良かったです。なので役に立ちそうなことを**メモを取ることができて良かった**なと思いました。もっと勉強して大学に入って後悔やついていけないことがないようにしたいです。
- ・司法試験に7回も落ちたと聞いたけど7回も落ちたら流石にメンタルや諦めることが多いと思います。**それでもあきらめないでやる**こと、自分の限界を決めない方がいいと思った。勉強方法は田門さんは**問題集を何回も繰り返す**などと言っていたのでこれから僕も問題集を頑張りたいと思います。
- ・障がいを理由に諦めたり辞めたりしないのがすごいと思った。**自分をよく理解し周りが理解してくれるまで行動し続ける強い気持ち**に勇気づけられました。
- ・印象に残ったことは効率よく勉強する方法です。1回目は分からなかったらすぐ答えを見て理解してから書いて2回目は見ないで試しに書いて答えを見て確認して大丈夫となったら3回目は答えを見ないで書くことが良いと言われました。
- ・今までの講演会は聞こえる人が多かったけれど今回は聞こえない人の人生の話を聞いてとても良かったです。



保護者の感想から

- ・聾の方で実際に活躍されている方のお話を聞いて参考になりました。高校は地域の学校に進学されたとのことなので、聴者とどのように仲良くなったのか、どのようにコミュニケーションを取っていたかもお話を伺いたいなと思いました。
- ・子供と同じ障害を持ちながら、世界で活躍する大先輩の話は大変励みになりました。今と比べて苦勞も多かった時代の中での経験談は、子供達にも保護者にもためになる良い講演会だと思います。
- ・**自分の長所、短所を知ること**はとても大事だと思いました。聾学校の中では当たり前(出来なくて当たり前なのでしない)なことでも一般の社会ではできないと困ること(電話や口頭でのやり取り)もたくさんあると思う。それに対し**できないだけでなく、どうすれば補えるかというところまで考えていくことが大事**と思いました。

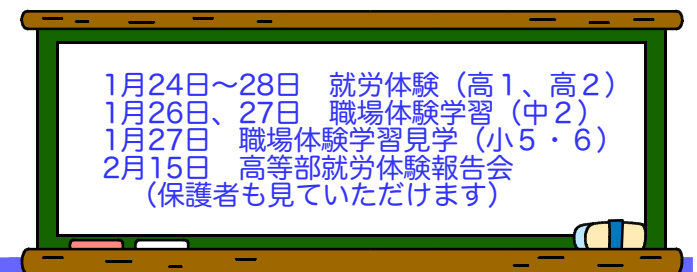
※これらの他にもたくさんの貴重なご意見・ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。これからも、キャリア教育の取組みへのご理解とご協力よろしくお願ひいたします。

お詫び: 当日オンラインでの視聴ができなくなりましたことお詫び申し上げます。

講演の動画はオンデマンドにて「学校行事・式典配信」のクラスルームで視聴いただけます。(お子様のアカウントとパスワードで入室ください)

あしたのために
その4

今後の予定



◎壁を乗り越えられた理由

- 先輩と出会うこと
- 仲間づくり
- 自分をよく理解し、他人に説明できるようにする
- 周囲に対して自分の障害を理解してもらうよう説明する
- 何が支障になっているのか、なぜそれが問題になるのかを説明する

◎目標をはっきり持つこと

目標を持つためには…

- 前もって色々調べておく。準備が大切。
- 先生に聞く ・先輩に聞く ・仲間に聞く

◎仕事に対する姿勢

- 「○○は出来ません」という考え方を捨てること
- 「○○は出来ます」という考え方を持つこと